

北海道札幌平岸高等学校の取組

(学校ホームページ <http://www.hiragishi-h.sapporo-c.ed.jp/>)

1. 学校の実態

平成17年度開設のデザインアートコースにおいて、授業の一環で「さっぽろ雪まつり」の雪像案を考案し、毎年大通公園にて中雪像を制作している。

昨年度に引き続き中雪像は、「札幌らしい特色ある学校教育」の三つのテーマ【雪】【環境】【読書】のマスコットキャラクター「ゆっぼろ」「ちっきゅん」「おっほん」を、ロンドンオリンピックをテーマに制作する事にした。

また、今年は札幌の姉妹都市であるアメリカ合衆国ポートランド市のグラント高校と1月31日～2月3日まで雪像を共同制作することになったので、小雪像は、札幌発のキャラクターであり最近話題となっている初音ミクを制作することにした。なお初音ミクについては、平成22年12月に札幌市とクリプトン・フューチャー・メディア株式会社が「シティプロモート分野の連携に関する協定」を結び、初音ミクなどの同社のキャラクターを活用した観光プロモーションを行うこととしている。

2. 実践単元名・題材名

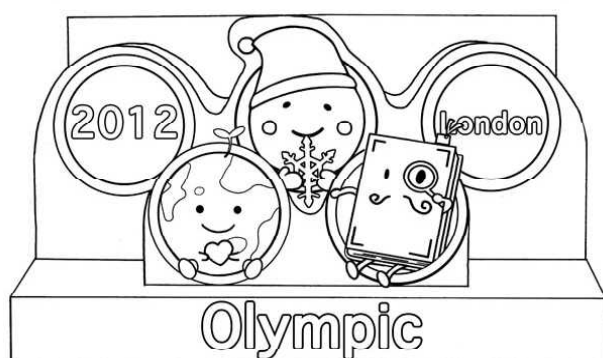
- 1・2年生 美術科「さっぽろ雪まつり雪像制作」(12時間扱い)

3. 目標

- ・雪像を通して市民や観光客に「札幌らしい特色ある学校教育」の三つのテーマやキャラクターを理解していただき親しんでもらえるように、全員で協力し計画的に制作を進める。
- ・グラント高校との雪像制作交流を通して親睦を図り、国際理解を深める。

4. 取組の様子

- ① 雪像の図案は、「札幌らしい特色ある学校教育」のマスコットキャラクターを、ロンドンオリンピックをテーマに生徒がデザインした。雪像模型は、模型制作班の生徒が放課後等を利用して制作した。また、12月22日の第2回さっぽろ雪まつり実行委員会において、雪像模型を発表した。



雪像案



雪像模型

- ② 雪像制作は、1月17日より2月2日までの3週間、1年生39名が水曜日、金曜日、2年生14名が火曜日、木曜日に大通西6丁目にて行った。寒さの厳しい日が続いたが生徒は熱心に制作に取り組み、立派な雪像を完成させることができた。
- ③ ポートランド市からポートランド市教育委員会のベーコン指導主事、グラント高校からコーディネータの石淵さんと生徒5名が来札し、1月31日～2月3日まで共同制作を行った。



グラント高校生との雪像共同制作

- ④ 昨年に引き続き、2月3日、大通西6丁目において、三つのキャラクターの着ぐるみも登場して、グラント高校の歓迎セレモニー兼雪像完成報告会を行った。
- また、2月6日（月）NHK ネットワークニュース北海道の生中継で雪像および制作した生徒たちが紹介された。



雪像完成報告会

5. 研究のまとめ

昨年度に続き、さっぽろ雪まつりの雪像制作を通して、「札幌らしい特色ある学校教育」の普及啓発を図ることができた。生徒も、雪像を作る活動を通して、雪国のよさに気付き、改めて自分たちの住む札幌のよさを実感することができた取組であった。「札幌らしい特色ある学校教育」マスコットキャラクターの雪像は好評だったので、来年度も引き続き制作していきたい。ポートランド市グラント高校との交流も大変有意義であった。